

丸亀製麺 鈴鹿店で『ZEB』を実現

～国内外食業界では初の『ZEB』事例～

株式会社トリドールホールディングス(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO:粟田 貴也、以下、トリドール HD)が展開する讃岐うどん専門店「丸亀製麺」鈴鹿店で、国内外食業界初となる『ZEB』※1認証を取得いたしました。



「丸亀製麺 鈴鹿店」



トリドールHDは、「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げ、日本初となる日本発 No.1 グローバルブランドカンパニーを目指し、様々な活動を行っております。この度、グローバルブランドカンパニーとして、世界で大きな課題となっている気候変動への対応として、カーボンニュートラル実現に寄与する『ZEB』を、丸亀製麺 鈴鹿店に導入します。

丸亀製麺 鈴鹿店では『ZEB』認証取得のために、高性能窓等の採用など外皮性能(外皮:建物の内部と外部を隔てる境界部分)を強化したうえで、高効率空調機器として電気式ヒートポンプと全熱交換器を採用いたしました。さらに、給湯にも電気式ヒートポンプ給湯器を採用し、制御機能付 LED 照明とすることで、徹底的に建物の省エネを図りました。そのうえで、太陽光発電パネルを屋根・庇・カーポートに設置することで、国内飲食企業初の『ZEB』(BEI=-0.06)を達成いたしました。

『ZEB』実現においては、ZEB プランナー※2 として北海道電力株式会社(本店:札幌市、代表取締役社長:藤井 裕)に参画いたしております。

飲食店舗では空調等で多くのエネルギーを消費していますが、トリドール HD では店舗の快適さと商品の美味しさを提供し、エネルギーを大幅に削減する『ZEB』化を達成することで二律両立を実現し、グローバル企業としてさらなる飛躍を遂げることができます。

今後も、世界共通の目標である SDGs 達成に向けた取り組みや、国連グローバル・コンパクトの 10 原則に基づく貢献を通じて、世界からの信頼を得られるよう一つずつ取り組みを進めてまいります。

■物件概要

名 称:丸亀製麺 鈴鹿店

所 在 地:三重県鈴鹿市白子四丁目 3715 番、3716 番1

延床面積:197 m²

規 模:地上 1 階

構 造:木造

竣 工:2023年1月(予定)

ZEB プランナー:北海道電力株式会社

そ の 他:環境省 令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業※3 採択



※1:ZEB とは、快適な室内環境を保ちながら、高断熱化・日射遮へい・自然エネルギー利用・高効率設備などによる省エネと、太陽光発電などによる創エネにより、年間で消費する一次エネルギー消費量がゼロ、あるいは概ねゼロとなる建築物のこと。

削減率の達成状況に応じて、『ZEB』(100%以上)、Nearly ZEB(75%以上)、ZEB Ready(50%以上)、ZEB Oriented(建物の用途により 30 または 40%以上)に分けられる。達成状況は、国交省の指針に基づく第三者認証が必要で、丸亀製麺鈴鹿店は 2022 年 12 月に「ZEB」の認証を取得。

※2:お客様の ZEB 実現に向けた相談窓口を有し、国の ZEB 普及方策(ZEB ロードマップ)などに基づき、国の「ZEB 設計ガイドライン」や自社の ZEB に関する技術や設計知見を活用して、建築設計・設備設計・設計施工・省エネ設計・コンサルティングなどの業務支援を行う事業者。

※3:地方公共団体所有施設及び民間業務用建築物等において、年間の一次エネルギー使用量が正味でほぼゼロとなるビル(ZEB)の実現に必要となる省エネ、省 CO₂ 性の高いシステム・設備機器等の導入にかかる費用の一部を支援することで、業務用建築物における ZEB の実現達成という政策の推進及びその普及を目的とする事業。